



さんないまるやま つうしん

三内丸山通信

第71号

令和元年12月9日

三内丸山遺跡センター
〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL(017)781-6078
FAX(017)781-6103
URL <https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>



【柱穴検出状況】

大型掘立柱建物跡を覆う
柱穴がみつかりました。そ
のさらに北側では、貯蔵のた
めの穴（フラスコ状土坑）や、
焼け落ちて内部に焼土や炭化
物が残る堅穴建物跡が確認さ
れました。炭化物の中には、
ストロー状の植物が並んだ状
態で確認された箇所がありま
した。植物の種類や年代など
を今後調べていく予定です。

何がみつかったの？

また、遺跡北側の縁では、
昨年度までに確認されている
縄文時代の遺物包含層の続き
がみつかりました。これらの
遺構からは、縄文時代中期中
葉（紀元前3000～2900年）から中期後葉（紀元前
2800～2600年）の遺
物が出土しました。

溝状遺構が西へ広がる！

そのころには、三内丸山
ムラの周辺にも次々に大き
なムラがあらわれ、この地
域が拠点集落の集まりのよ
うになります。

本展は、三内丸山ムラと
その周辺が最も栄えた時期
に焦点を当てて、具体的な
姿に迫ります。

今年度の第43次発掘調査は、令和2年1月18日から10
月25日まで遺跡北端部を調査しました。遺物包含層（土
器や石器などの遺物が含まれる層）と遺構の分布や、昨
年度の調査で確認された沢地形と付近の遺構との関係な
どについて調べました。

今年度の調査成果については令和2年1月18日からの
展示と、3月14日（土）の遺跡報告会で発表しますので、
ぜひお越しください。

第43次発掘調査終了！



【遺物包含層堆積状況】

今回の調査では、柱穴など
の遺構が多くみつかった地区
一帯で、地面の土が削られて
いる様子が確認できました。
縄文時代の人々は、地面を
削ってならしたところに柱穴
などを掘り、これらの作業で
出土した土を北側の斜面に捨てた
り盛つたりしたと考えられます。
また、土を捨てるのと同
時に土器や石器なども一緒に
捨てたと考えられます。

（縄文時代の土木工事？）

昨年度の調査で確認された
2条の溝状遺構について、
東側と西側に調査区を設定し
て、溝状遺構の続きを調べま
した。東側では、平安時代以
降に溝状遺構が削られている
ことが分かりました。また、
西側にさらに続くことも分か
りました。来年度の調査では、
溝状遺構がどこまで続くのか
について、さらに西側を調査
する予定です。

冬季企画展と同時開催の
「さんまる速報展！2019」
では、平成28年度から発掘調
査が続く遺跡北端部の調査成
果を中心に紹介します。調査
時の写真や出土遺物と共に遺
跡北端部のなぞに迫ります。



【三内丸山遺跡の発掘調査の様子】



【建穴建物跡遺物出土状況】

冬季企画展

「さんまる速報展！
2019」

同時開催	
「さんまる速報展！ 2019」	2月1日（土）～3月15日（日）

会期
令和2年1月18日（土）～3月15日（日）
休館日 1月27日（月）、2月25日（火）
観覧時間 9時～17時
(最終入館16時30分)

【観覧料】
遺跡を含む常設展の入場
料で観覧できます。

【関連イベント】

- ・土偶づくり体験
2月1日（土）13時30分～15時30分
- ・三内丸山遺跡報告会
3月14日（土）13時30分～15時30分
- ・ギャラリートーク
会期中の土日祝
13時30分～30分程度

※ 詳細はチラシやホームページをご覧ください。



令和元年9月21日から
11月4日まで、秋季特別
展「発掘された日本列島
2019」展を開催しま
した。

1年間で全国各地を巡
回し、今年は東京、岩手、
青森、愛知、福岡の5都
県を巡ります。青森県で
この展覧会が開かれたの
は2年ぶり、青森市内で
の開催は9年ぶりとなり
ました。

平成7年度から始まっ
た「発掘された日本列島
展」は今年で25年目となり
ます。

「発掘された日本列島2019」展を開催しました



【ギャラリートークの様子】

さんまる縄文体験

三内丸山遺跡や縄文文化に
触れる「さんまる縄文体験」

を今年度も実施しました。8
月には、「土偶のレプリカ作
り」を行いました。本物の土
偶から型を取り、型に石膏を
流し込んだものに色をつけて
レプリカを作りました。出来
上がったレプリカと本物の土
偶を展示ケースに入れ、ギャ
ラリーで展示を行い、多くの
来場者に作品をみてもらうこ
とができました。

10月には、「ザリガニを釣つ
て遺跡を守ろう」を行いまし
た。この日は、青森南高校自
然科学部の生徒が行っている
アメリアガニの生息状況
についてもあわせて学んだ
後、多くのアメリアガニを
つり上げていました。この
ほか、「石器作り」、「発掘体
験」、「縄文木こりになろう」、
「釣り針作り」、「土器作り」
を行いました。

さんまる縄文体験は来年度
も実施する予定です。いろい
ろな体験メニューを企画して
います。内容や日程はホーム
ページやチラシ等でお知らせ
しますのでご参加をお待ちし
ています。



【ザリガニ釣りの様子】



【縄文の星空観察の様子】

「さんまるJOMONの日」を 開催しました

9月21日（土）～23日（祝・
日）に「さんまるJOMON
の日」を開催しました。

初日に開催した新企画「縄
文と星空のミュージアム」は、
普段入れない夜の遺跡で天体
望遠鏡を使って星空を観察し
たり、縄文時遊館内でタイム
ラプス映像やプラネタリウム
をご覧いただいたりする内容
で、様々な世代の方にご参加
いただき、大盛況でした。

2日目の「さんまるじょも
りんぴっく」では、たくさん
のご当地キャラと参加者と
で、「じょうもん○×クイズ」
など、縄文にまつわるアク
ティビティを楽しみました。
なかでも「じょうもん鬼ごつ
こ」は、各チームとも初対面
の参加者同士とは思えない
チームワークで、白熱した試
合も見られました。

ほかにも、「あおもり伝統
芸能フェスティバル」や「J
OMO☆ROCK FES.
2019」など、多種多様な
催しでにぎわい、縄文に触れ、
親しみ、楽しんでいただきま
した。

3日目は、台風第17号の影
響もあり、イベントの内容を
一部変更しての開催となりま
したが、3日間を通して約8
800名の方々にご来場い
ただきました。

また、全国各地の開催
ほかにも、縄文時代の
日本最多の土製耳飾りや
古墳での祭祀のようすを
示す埴輪、戦時下の幻の
東京オリンピック記念盆
など、多種多様な出土品
が紹介されました。

来年度の特別展は春季
特別展「縄文MAGIC
AL」と夏季特別展「三
内丸山遺跡と大湯環状列
石」北東北に花開いた大
規模遺跡」を予定して
います。ぜひお越しくだ
さい！

16日（日）に、「三内丸山縄
文冬まつり」を開催します。
三内丸山遺跡で楽しむ雪と縄
文のコラボレーション企画を
用意してみなさんのご来場を
お待ちしています。お楽しみ

三内丸山遺跡センターのご案内

開館時間
10月～5月：9時～17時
GW中・6月～9月：9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)

見学料
一般410円(330円)
高校生・大学生等200円(160円)
中学生以下無料
※()は20名以上の団体
※特別展の観覧料は別途

休館日
毎月第4月曜日
(第4月曜日が休日の時はその翌日)
12月30日～1月1日

公共交通機関
・青森市営バス
J R青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車
料金310円 約30～40分
・ねぶたん号
J R新青森駅東口 三内丸山遺跡前で下車 料金300円 約15分



【さんまるじょもりんぴっく記念撮影】